

1 研究の概要

■調査研究委員会活動方針

令和元年度福井県小学校長会活動方針の中で、5つの重点活動を示している。それらは、「1 学校経営の充実 2 研究活動の充実 3 「生きる力」を育む創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善 4 教職員の資質・能力の向上 5 教職員の定数や処遇の改善」である。中でも1から4は、社会の変化に即応した教育の在り方として、私たちに突きつけられている。さらには、グローバル化に対応できる人材の育成を目指す英語教育の拡充・強化、いじめなど問題行動の防止に向けた人権教育と道徳の教科化、質の高い教育活動を実現するための教職員の資質・能力の向上、特別支援教育の充実、教師が子どもたちと向き合う時間の確保など対応すべき重要課題が山積している。また、危機管理体制の見直し、安全指導の充実、関係機関との連携を強化した防災教育の推進も喫緊の課題となっている。このような状況の中で、校長は現状を深く認識し、教育改革の動向を的確に把握しながら、リーダーシップを発揮し、確かな計画と実行力を持って教育成果をあげていかなければならない。私たちは、組織の総力をあげて課題解決に努めるとともに、積極的に政策提言を進め、もって県民・国民の信頼に応える必要がある。そのために、校長は自らの使命を自覚し、権限と責任をもとに、未来社会に夢と希望をもち、たくましく生きる児童の育成を志向して、活力ある学校づくりに努めなければならない。本委員会では、今日的な学校教育の課題、学校経営上の諸問題など社会の変化に即応した学校の取組について調査研究し、対策に資することとする。

■調査研究内容

- 1 全国連合小学校長会平成30年度研究紀要より項目を抜粋して調査研究を行う。令和元年度福井県のデータと、平成30年度における福井県のデータならびに全国連合小学校長会「研究紀要」のデータを比較した調査研究を行う。
- 2 会員からの要望による調査項目について、追加して調査研究を行う。
- 3 福井県全体の調査研究をもとに、各郡市の課題や諸問題について調査研究を行う。

■調査研究テーマ

「新しい時代に必要な資質・能力を育成するための教育課程の編成と校長の役割」

■調査項目

- 1 県民の信託に応える小学校教育の在り方や学校評価の在り方に関する課題
- 2 全国学力・学習状況調査の結果公表及び各都道府県における学力調査の結果を生かした学力向上策や授業改善の取組に関する課題
- 3 教員の資質・能力の向上と子どもと向き合う環境づくりに関する課題
- 4 少人数教育の推進、外国語科・外国語活動や特別の教科道徳への対応等、新たな教育改革・教育施策に関する諸問題
- 5 教育課程の編成や学習評価の改善に関する課題
- 6 校長の職能に関する課題
- 7 特別支援教育の推進に関する課題
- 8 教員の生徒指導力の向上のための課題
- 9 学校の安全対策についての課題
- 10 今日的な課題に即応した学校づくりに関する課題

■調査対象・方法

- 1 調査対象 福井県全小学校 188校 [国立1校・市町立187校]
- 2 調査期間 令和元年6月3日～6月22日
- 3 調査方法 質問紙による回答 [各設問の選択数は、全国連合小学校長会調査と同数]